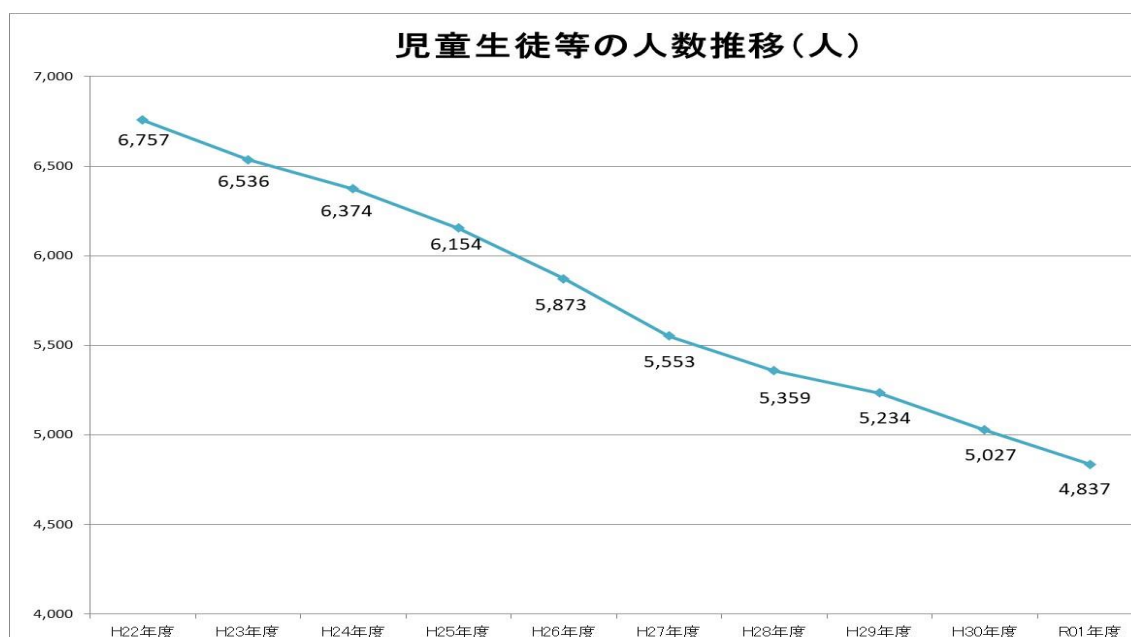
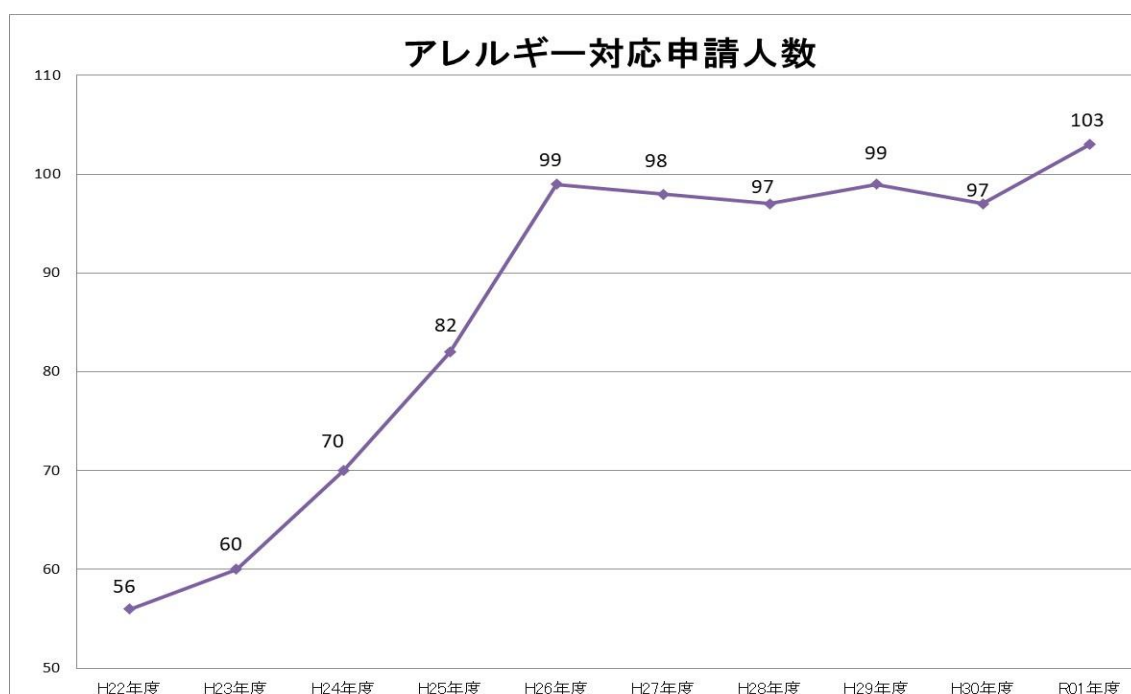


## ●現在のアレルギーの現状

### 1 アレルギー人数の推移



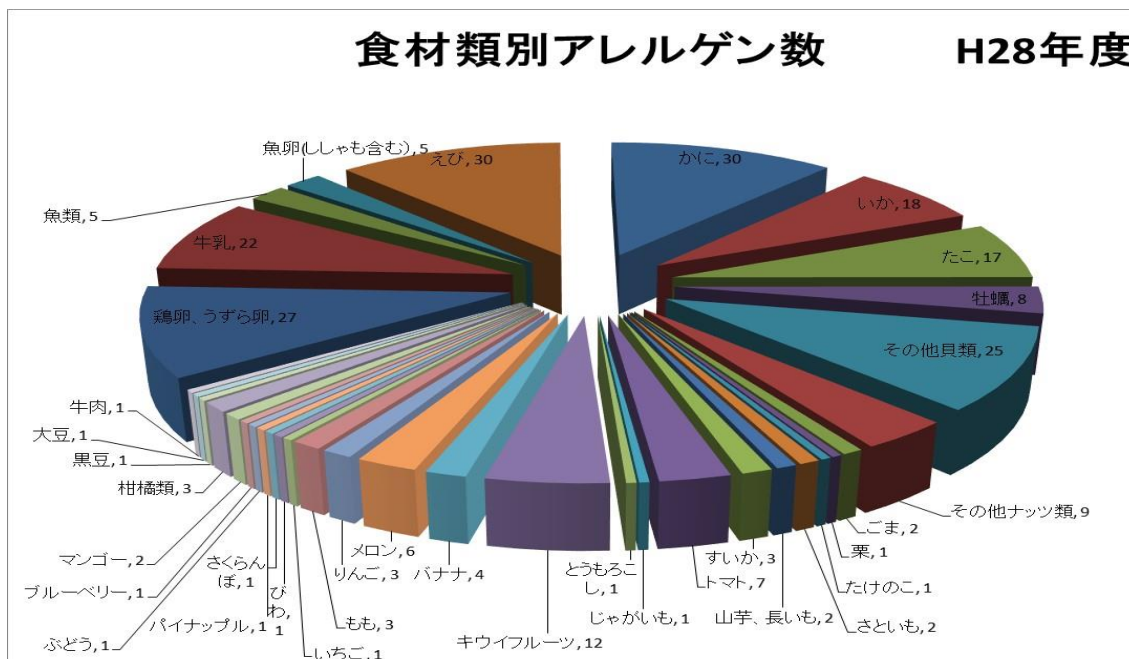
令和元年度の 4,837 人と、平成 28 年度の 5,359 人を比較すると、約 10%減少



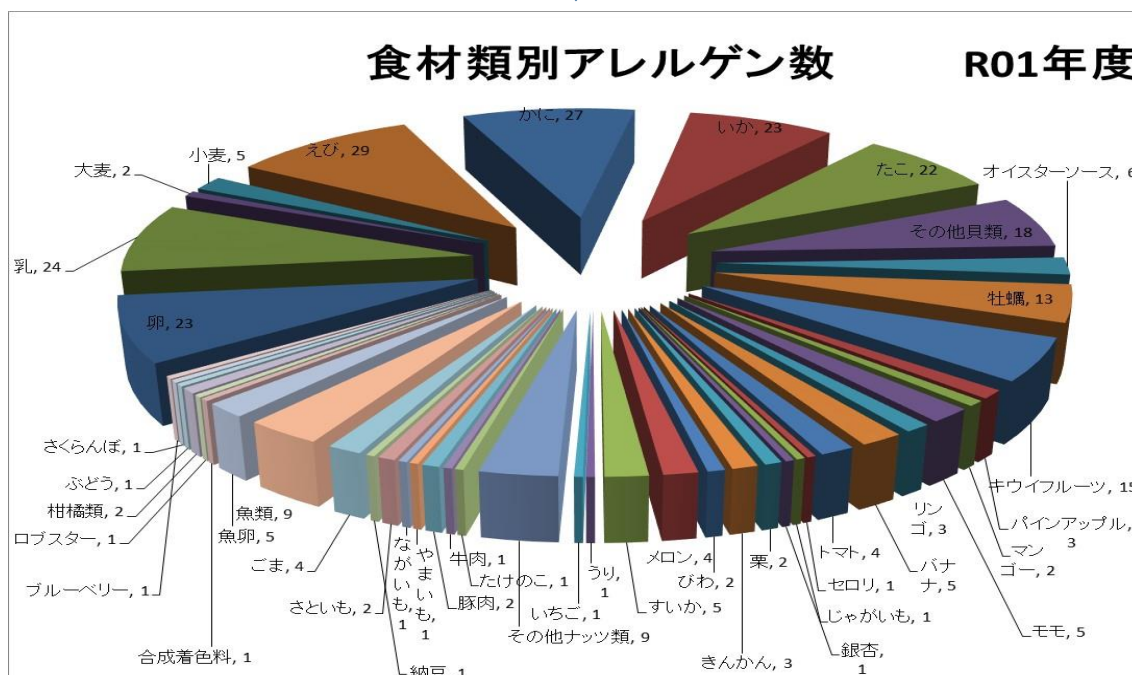
児童・生徒の人数が減少している中、アレルギー対応申請人数は増加している。

また、令和 2 年 8 月 1 日時点で、106 人アレルギー対応を申請しており、現在の食物アレルギー対応マニュアルの運用を開始した平成 28 年度 97 人と比較すると約 10 人の増加となっている。

## 2 アレルゲンの推移

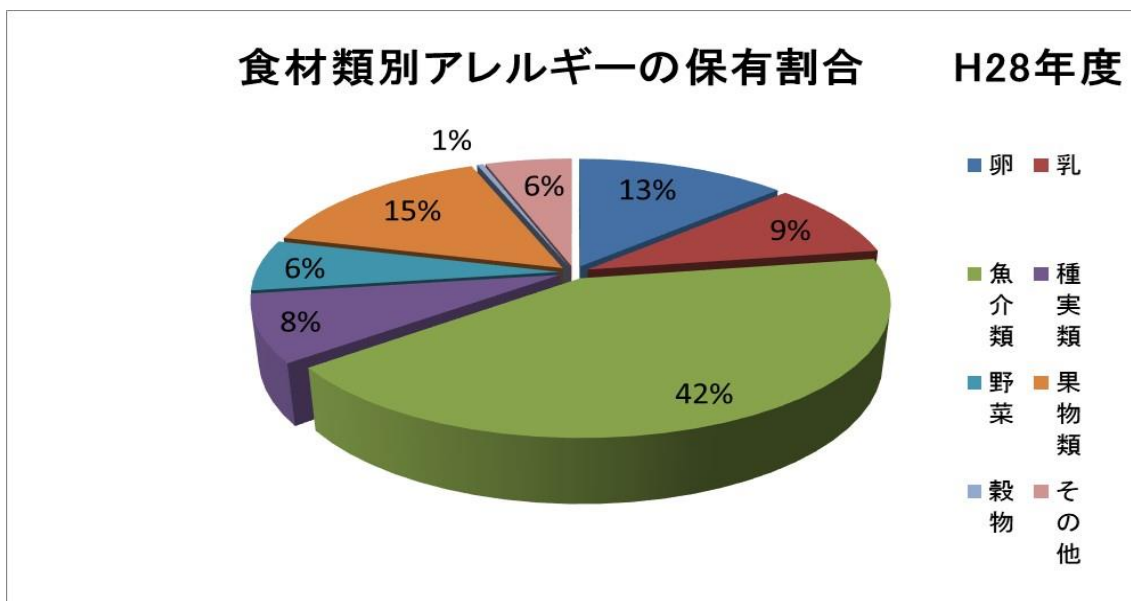


- ・総アレルゲン数：258
- ・アレルゲン種類：36 種類

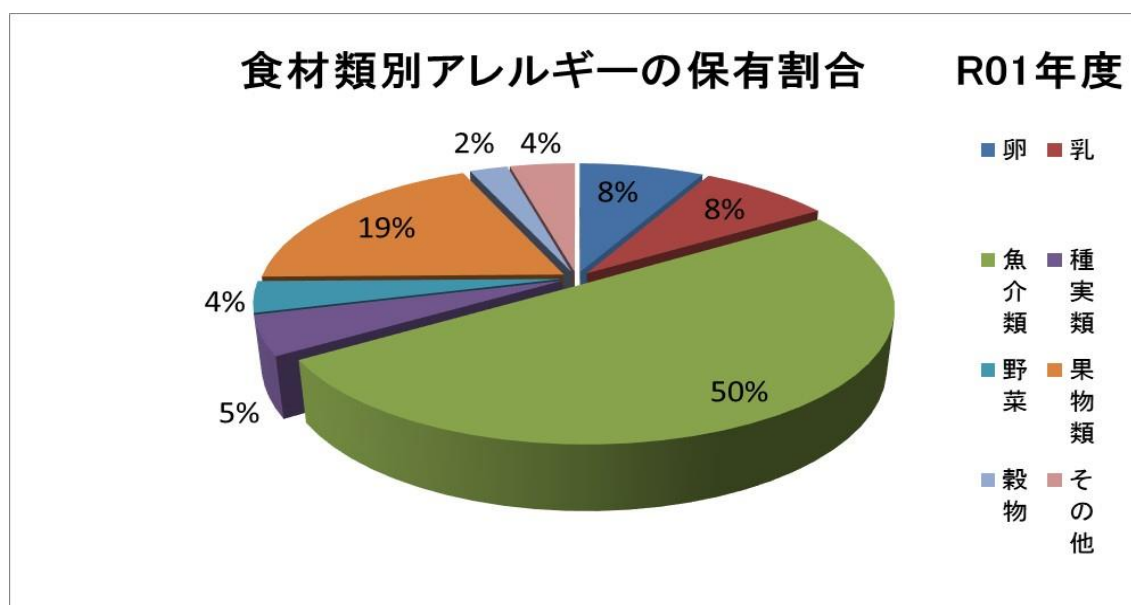


- ・総アレルゲン数：293
- ・アレルゲン種類：45 種類

3 アレルギー保有割合



魚介類（えび、かに、魚類等）	42%
果物類（キウイ、バナナ等）	15%
卵（鶏卵、うずら卵）	13%



魚介類（えび、かに、魚類等）	50%
果物類（キウイ、バナナ等）	19%
卵（鶏卵、うずら卵）	8%
乳（飲用牛乳、乳製品等）	8%